

## 広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 やまなみ ひろあき  
山並 寛明



皆さまこんにちは。4月から常勤医として朝日診療所に着任しました山並寛明と申します。出身は宮城ですが、家庭医療を深く学ぼうと福島にやって参りました。(福島には「地域・家庭医療学講座」という、医大を母体とする医師のネットワークがあり、所属者で定期的に診療能力の向上を様々な角度から図る勉強会を行うなど、家庭医として研鑽を積む環境が整っています。森先生、若山先生もその講座に所属しています)昨年度は福島市で勤務し、今年度から満を持して(?)只見町勤務です。

医師としては7年目になりましたが、診療所で働くのは初めての経験です。病院で内科的な入院を主に診ていたのに比べると、朝日診療所の業務は外来(外傷やお子さんなどの対応を含む)・入院のほか、訪問診療、介護福祉関係者との提携、地域保健活動など、仕事の区切りがなく地域の医療に包括的に携わっていく形になると思います。若輩者ですが、若山先生・森先生、地域のスタッフそして皆さまに教えられながら、少しでも早く仕事がこなせるように慣れていきたいです。まずは地域の皆さまの名前を覚えることに時間をいただきそうです。

趣味は電車やバス、自転車で出歩くことです。只見にも只見線に乗って参りました。全線開通したら改めて乗ってみたいです。車は10年近くペーパードライバーでした。5月以降SUBARUのXVがのろのろと走っていましたらお手柔らかにお願いします。こちらに来てからは幸い良い天気が続いており、伊南川と山並みの見せる自然に癒されています。機会があれば癒しの森の散策などにも参加してみたいです。只見の冬は今から心配しております。

町でもし見かけたらお気軽に声をかけて下さると嬉しいです。これからどうぞよろしく願いいたします。

## 地域おこし協力隊として Vol.89

空き家対策はこれからも続きます

移住定住支援協力隊 いませき まき  
今関 真貴



豪雪を体験しながら「移住定住支援協力隊」の仕事をして3年、私は只見に来て見渡すかぎり真っ白な雪景色が大好きになりました。特に今年は、働く除雪車にくぎづけ。雪が積もる日は人が寝静まるころ出勤、春は子供たちが早く校庭で遊べるように排雪。只見の生活は、いつも見えないところで誰かに支えられているのだと節々で感じます。

この5月には協力隊の任期満了を迎えます。私の主な業務は空き家対策で、空き家バンクの運営や利活用の相談対応、広報を通じた啓発などを担当しました。全国的な課題でもある空き家問題、町としての対策を模索しながら試行錯誤の日々でしたが、これまでの活動が一人でも多くの方の考えるきっかけとなり、実際に対策に踏み出すための一歩につながっていたのであれば嬉しく思います。なお、只見町の空き家対策はこれからも続きます。地域創生課には引き続き相談の窓口がありますので気になることがあればどうぞお訪ねください。

この原稿を書く4月現在、実はまだ今後の方向性を決めていません。「なんだったのんびりしてんなあ」という心配の声を背に、先のことは退任してからじねんと考えていこうなどと思っている所なのですが、これまで関わってくださったすべての方の元へ直接お伺いしてお話することは叶いませんので、この場をお借りして一旦ご挨拶とさせていただきます。

3年間本当にありがとうございました。